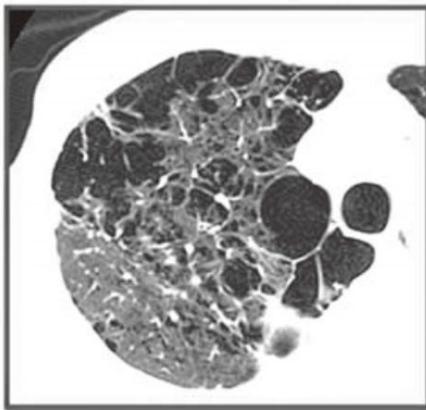
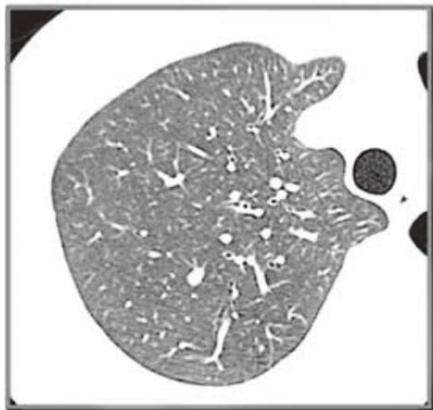


週刊 タバコの正体

正常な肺

肺気腫部分
50%



非喫煙者

資料提供：東北中央病院 大竹修一氏
利根中央病院HPサイトから

喫煙歴

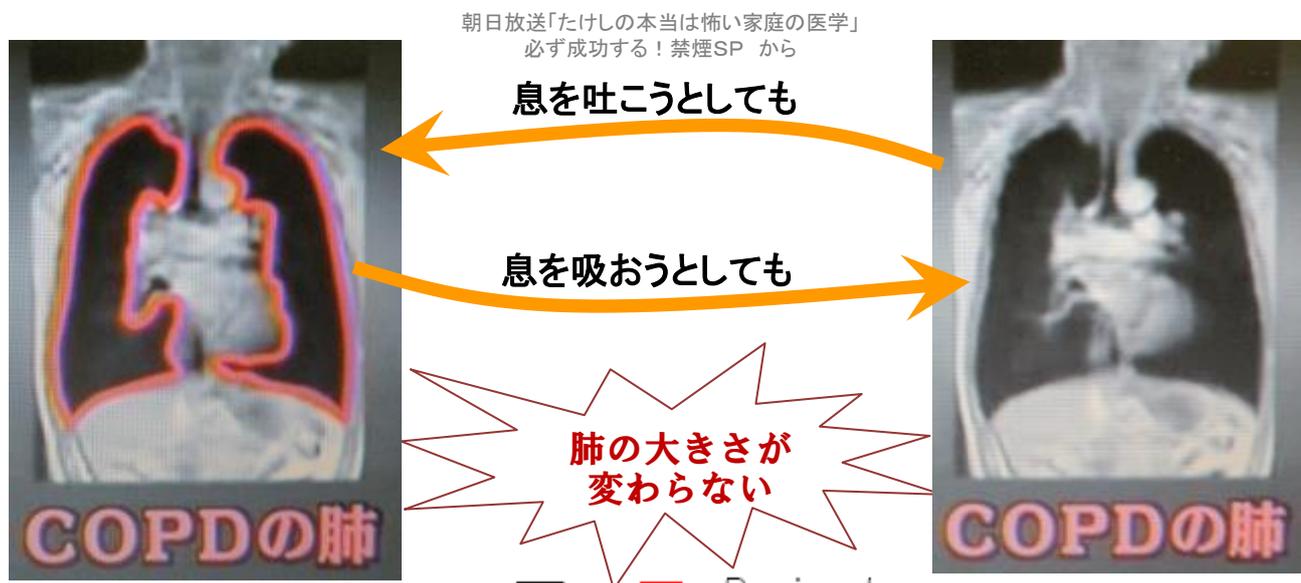
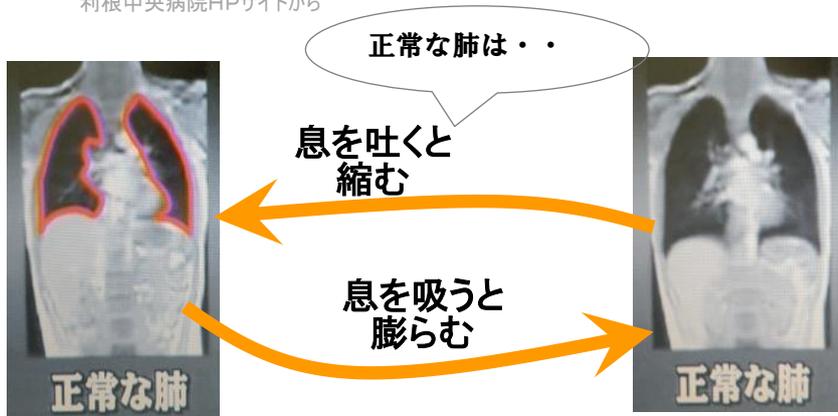
30本/日×36年

何十年もタバコを吸い続けると COPD (慢性閉塞性肺疾患) になる確率が高くなります。かつて COPD は「肺気腫」や「慢性気管支炎」と呼ばれ、肺胞や気管支が壊される病気です。左の写真は肺の CT 画像ですが、非喫煙者の正常な肺に比べ、喫煙歴が長い人の肺は模様が不規則になっていますよね。

さらに、正常な肺は膨らんだり縮んだりして呼吸をしているのに対し、COPD の肺は息を吐こうとしても吸おうとしても大きさが変わりません。つまり、呼吸ができないわけです。

怖いんですよね。こんな肺になってしまうのを覚悟してタバコを吸い始めるでしょうか。今さらタバコに手を出す必要はありません。

産業デザイン科 奥田 恭久



朝日放送「たけしの本当は怖い家庭の医学」
必ず成功する！禁煙SP から